



大島事業所トピック

No. 316

島しょ農林水産総合センター大島事業所発行
〒100-0212 東京都大島町波浮港18
Tel 04992 (4) 0381 Fax 04992 (4) 0383
ホームページ <http://www.ifarc.metro.tokyo.jp>

平成18年12月5日

三宅島のテングサ復活に向けた取り組み！

--- 海藻礁による実験と転石反転試験 ---

大島事業所では三宅島のテングサ漁場の復活のため、海藻礁の設置と転石の反転試験を行いました。

「テングサの島」の現状は？

三宅島は、かつては「テングサの島」と言われるほど、沿岸に豊かなテングサ漁場が広がっていました。しかし、2000年に始まった雄山の大规模な噴火の影響によって、多くのテングサ漁場が荒廃してしまいました。島しょ農林水産総合センターの調査によれば、泥流による火山灰や土砂が漁場を埋めてしまったり、岩上に堆積したことによって、テングサの生育が阻害され、漁場の荒廃につながった可能性が考えられています。噴火から6年が経過した現在も、島の東側を中心にテングサ漁場は、噴火以前の状態には回復しておらず、今年の漁獲量は約30トンと、噴火前年の約10分の1にとどまっています。

漁場の復活に向けた新たな試み！

そこで、大島事業所ではテングサ群落が衰退してしまっただけに海藻礁を試験設置しました(写真1)。海藻礁は鉄筋コンクリート製で、重さは約300kgあり、テングサの着生を促すための柱状ブロックや繊維を巻いた棒状突起などの特徴があります。伊豆大島における予備試験結果をふまえて設計し、11月8日に三宅島坪田沖の水深約10mの海底に設置しました。

また、12月1日には、同所周辺の転石20個(重さ50~300kg)を人為的に反転させる試験を行いました。反転させた転石は、地中に埋没していた面を上にしたため、表面に海藻類が付着してい

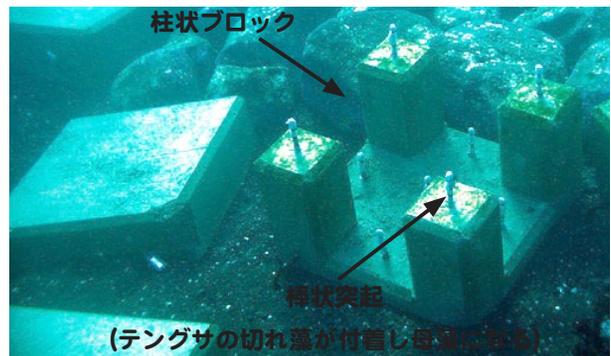


写真1 設置した海藻礁(右)と対照ブロック(左)



写真2 反転させた転石(中央)と海藻礁(右)

ません(写真2)。これらの試みは、新たな着生基盤を設けることで、テングサが生育しやすい環境を増やし、漁場回復を促進することを狙いとしています。今後、定期的にテングサの着生状況を追跡調査していく予定です。

現在、東京都では、漁場復活に向けた産・学・公連携による研究チームや、漁業者や町村との連携による「明日葉・天草プロジェクト」を立ち上げ、「テングサの島」復活を目指しています。